

プラスドックパンチコード(/FG) は高分子に関する特許を検索するためのコードで、マルチパンチコードまたはフラグメンテーションコードとも呼ばれています。これらはパンチカードのポジションをコード化したもので、この「パンチコード」をいくつか付与することにより、ポリマーの概念が索引されています。

- ポリマーに関する構造・非構造情報を詳細かつ包括的に得ることができます。
- 1966～1994年の検索に有効です。

1995年以降は新ポリマー索引(/PLE)になりました。レコードには、大抵一つ以上のプラスドックパンチコードのサブフィールドがあります。これらのサブフィールドが各々の発明の要点を表しています(例:モノマーの製造, コポリマーを構成するモノマー)。

同一サブフィールド内に限定して検索したい場合は、(U) 近接演算子を使用します。/FG フィールドのデフォルトの近接演算子は(U)で、スペースで代用することができます。

例:

検索式 (スチレンコポリマーの発泡体): **(055 (U) 034 (U) 448) /FG**

結果:

Polymer Coding	
UPA.PLC	20050701
KS	0009 0207 0209 0218 0231 0239 0241 0306 0789 1093 1095 1100 1101 2020 2198 2371 2413 2445 2447 2450 2462 2493 2536 2545 2622 2713 3155 3159 3237
FG	[001] 017 032 034 04- 040 041 046 047 055 056 066 067 117 122 123 231 27& 359 387 415 428 448 450 456 458 473 476 491 50& 551 560 561 619 620 688 [002] 017 04- 040 041 046 047 062 063 231 359 387 415 428 448 450 456 458 473 476 491 50& 551 560 561 619 620 688

プラスドックキーシリアル番号(/KS) は高分子に関する特許を検索するためのコードで、各コードは各概念に対応しています(例:0248 ポリプロピレン)。プラスドックキーシリアルとマルチパンチコードは、合わせてポリマー索引またはプラスドックコードとも呼ばれています。

- ポリマーに関する構造・非構造情報を詳細かつ包括的に得ることができます。
- プラスドックキーシリアルは、プラスドックパンチコード(/FG)と組み合わせて使用します。
- 1978～1994年の検索に有効です。

1995年以降は新ポリマー索引(/PLE)になりました。プラスドックキーシリアルフィールドは、レコードにつき一つなので、複数のコードを組み合わせて検索する場合は **AND** 演算子を用いてください。

例:

検索式 (ポリプロピレンと不織布): **(0248 AND 2820)/KS**

結果:

Polymer Coding	
UPA.PLC	20050701
KS	0231 0239 0241 0248 0250 1283 1288 1982 2454 2486 2569 2680 2682 2820 3151 3153 3228 3255 3286 3287
FG	[001] 017 034 04- 041 046 047 050 141 143 252 253 27& 32& 454 52& 532 533 540 55& 56& 57& 58& 645 664 665 688 [002] 017 04- 454 52& 532 533 540 55& 56& 57& 609 645

プラスドックキーシリアル番号またはマルチパンチコードを用いた検索の詳細についてはトムソン・ロイターの資料をご覧ください。
<http://ip-science.thomsonreuters.jp/products/dwpi/support/PolymerCode/>